

平成14年11月15日  
気象庁 気候・海洋気部

## 配信資料に関する技術情報（気象編）第115号

－平成15年3月からの3か月予報電文形式の変更について－

現在気象庁では、統計予測手法に基づいて3か月予報を行っていますが、数値予報モデルを使った力学的手法導入の目処が立ったことから、平成15年3月より力学的手法と統計予測手法を併用した新しい3か月予報を開始します。この改善に伴い、3か月予報の電文形式を変更する予定です。

変更は下記のとおり実施する計画です。対象は3か月予報（全般3か月予報・地方3か月予報）のみで、1か月予報や暖候期予報・寒候期予報の電文形式には変更ありません。

なお、数値予報モデルを使った力学的手法導入による新しい3か月予報の具体的な内容については、11月27日（水）の開催を予定している気象振興協議会第一部会で説明します。

### 記

#### 1. 変更の実施予定日

平成15年3月20日ころ（詳細な日付は決まり次第追ってお知らせします）

#### 2. 3か月予報電文の主な変更点

新しい予報電文形式では、はじめに一般的・概要的な情報を平文で分かりやすく記述し、その後に、より専門的・詳細な確率情報を配置しています。新たに設ける事項および今回廃止する事項は次のとおりです。

- ・ <予想される向こう3か月の天候>を設け、向こう3か月間の気温・降水量・降雪量予報等の概要について記述します。また、月別の気温・降水量予報や天気日数の特徴（“平年に比べて雨の降る日が多い”等）についても平文で記述します。
- ・ <気温>を設け、現在確率表現で予報している3か月平均気温に加えて、月別の気温予報を従来の階級表現（「低い」・「平年並」・「高い」）から各階級の確率表現に変更します。これにより気温予報は3か月平均・月別ともに確率表現となります。
- ・ <降水量>・<降雪量>を設け、3か月降水量・3か月降雪量および月別降水量予報を従来の階級表現（「少ない」・「平年並」・「多い」）から各階級の確率表現に変更します。
- ・ <向こう3か月の気温の各階級の確率>・<概要>・<可能性の大きな天候見通し>・<要素別予報>については廃止します。

なお、新しい電文形式の詳細は別紙を参照願います。

## 3か月予報の電文形式について

## 1. 3か月予報のデータ種類コード

全般3か月予報および地方3か月予報の通報に用いるデータ種類コードは、それぞれ「キツヨウ1」および「チウキツヨウ1」とする。

2バイトコード文字の電文（仮名漢字電文）を用いて通報する。

## 2. 電文で使用する文字

電文において、本文ではすべて2バイトコード文字を用いる。本文以外は、1バイトコード文字を用いる。

以下において、「▽」と記されたところでは必ず1回以上の改行を行い、「□」と記されたところでは必ず1つ以上の空白を含める。また、記述することが指定された単語では、その途中で改行・空白等の文字を挿入しない。

## 3. 3か月予報本文の通報形式

全般3か月予報本文と地方3か月予報本文は同じ通報形式とする。3か月予報本文の通報形式は次の事項で構成する。

(1)	標題行	予報の種類を示す
(2)	予報期間行	予報期間を示す
(3)	発表年月日行	予報発表日を年月日で示す。年は元号を用いて示す
(4)	発表官署行	発表官署を示す
(5)	天候の概要行	予報期間の天候の概要について平文で示す
(6)	気温確率行	3か月および月別の気温予報について確率形式で示す
(7)	降水量確率行	3か月および月別の降水量予報について確率形式で示す
(8)*	日照時間確率行	3か月および月別の日照時間予報について確率形式で示す
(9)*	降雪量確率行	3か月および月別の降雪量予報について確率形式で示す
(10)	次回発表予定行	次回の季節予報発表日等について平文で示す

\* ただし、日照時間と月別の降雪量については、当面の間、3か月予報電文に含めない

## 4. 3か月予報本文の構成

各行の取り扱いは次のとおりとする。

## (1) 標題行

「予報区名□3か月予報▽」とする。

予報区名には別表中の「地方予報区名」のいずれかを用い、「予報区」という言葉は省略する。ただし、九州北部地方予報区の予報区名は「九州北部地方（山口県を含む）」とする。また、全般3か月予報の予報区名は「全般」とする。

【例】北海道地方□3か月予報▽

(2) 予報期間行

「予報期間□」に続けて予報対象となる期間を月単位で示し改行する。

【例】予報期間□7月から9月▽

(3) 発表年月日行

「発表年月日▽」とする。年は元号を用いて示す。

【例】平成16年7月××日▽

(4) 発表官署行

「発表官署□発表▽」とする。発表官署には予報区名に対応する別表中の「担当官署」のいずれかを用いる。ただし、気象庁本庁が発表する予報（全般3か月予報および関東甲信地方3か月予報）では、発表官署を「気象庁□気候・海洋気象部」とする。

【例】「札幌管区気象台□発表▽」

(5) 天候の概要行

「<予想される向こう3か月の天候>▽」とし、可能性の大きな向こう3か月の天候を平文で記述して改行する。

【例】

<予想される向こう3か月の天候>▽

向こう3か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。▽

この期間の平均気温は高く降水量は平年並でしょう。▽

8月 平年同様に晴れる日が多いでしょう。気温は高く、降水量は平年並で▽しょう。▽

9月 平年より晴れる日が多いでしょう。気温は高く、降水量は少ないでし▽ょう。▽

10月 天気は周期的に変わるでしょう。気温、降水量とも平年並でしょう▽。

▽

(6) 気温確率行

「<気温>□3か月□1か月目の月□2か月目の月□3か月目の月▽」に続いて「地域□低□並□高□低□並□高□低□並□高□低□並□高%▽」とする。

次に「予報地域□3か月平均気温の確率予報□月別気温の確率予報（1か月目）□月別気温の確率予報（2か月目）□月別気温の確率予報（3か月目）▽」により気温の確率予報を示す。この部分は予報区内の予報地域の数に応じて、1ないし複数回記述する。

予報地域は別表中の「予報対象地域名」のいずれかを用いる。ただし、「予報対象

地域名」に略称がある場合には略称を用いる。

3か月平均気温の確率予報・月別気温の確率予報（1か月目）・月別気温の確率予報（2か月目）・月別気温の確率予報（3か月目）には、それぞれ6桁の数字を記述する。6桁のうち左の2桁は低い階級の確率、中2桁は平年並の階級の確率、右2桁は高い階級の確率を表わす。

【例】

<気温>□ 3か月□ 1 2月□ 1月□ 2月▽  
地域□ 低□並□高□ 低□並□高□ 低□並□高□ 低□並□高%▽  
九州北部地方□5 0 3 0 2 0□6 0 3 0 1 0□5 0 3 0 2 0□4 0 4 0 2 0▽

(7) 降水量確率行

「<降水量>□3か月□1か月目の月□2か月目の月□3か月目の月▽」とし、続いて「地域□少□並□多□少□並□多□少□並□多□少□並□多%▽」とする。

次に「予報地域□3か月降水量の確率予報□月別降水量の確率予報（1か月目）□月別降水量の確率予報（2か月目）□月別降水量の確率予報（3か月目）▽」により降水量の確率予報を示す。この部分は予報区内の予報地域の数に応じて、1ないし複数回記述する。

予報地域は別表中の「予報対象地域名」のいずれかを用いる。ただし、「予報対象地域名」に略称がある場合には略称を用いる。

3か月降水量の確率予報・月別降水量の確率予報（1か月目）・月別降水量の確率予報（2か月目）・月別降水量の確率予報（3か月目）には、それぞれ6桁の数字を記述する。6桁のうち左の2桁は少ない階級の確率、中2桁は平年並の階級の確率、右2桁は多い階級の確率を表わす。

【例】

<降水量>□ 3か月□ 1 2月□ 1月□ 2月▽  
地域□ 少□並□多□ 少□並□多□ 少□並□多□ 少□並□多%▽  
北海道（日）□5 0 3 0 2 0□6 0 3 0 1 0□5 0 3 0 2 0□4 0 4 0 2 0▽  
北海道（オ）□2 0 3 0 5 0□1 0 3 0 6 0□2 0 3 0 5 0□2 0 4 0 4 0▽  
北海道（太）□2 0 4 0 4 0□2 0 3 0 5 0□2 0 4 0 4 0□2 0 5 0 3 0▽

(8) 日照時間確率行

当面は確率表現の日照時間を予報しないため、この行は略される。日照時間の確率予報を開始し、この行の使用を開始する際には、別途、技術情報により周知する。

「<日照時間>□3か月□1か月目の月□2か月目の月□3か月目の月▽」とし、続いて「地域□少□並□多□少□並□多□少□並□多□少□並□多%▽」とする。

次に「予報地域□3か月日照時間の確率予報□月別日照時間の確率予報（1か月目）□月別日照時間の確率予報（2か月目）□月別日照時間の確率予報（3か月目）▽」により日照時間の確率予報を示す。この部分は予報区内の予報地域の数に応じて、1ないし複数回記述する。

予報地域は別表中の「予報対象地域名」のいずれかを用いる。ただし、「予報対象地域名」に略称がある場合には略称を用いる。

3か月日照時間の確率予報・月別日照時間の確率予報（1か月目）・月別日照時間の確率予報（2か月目）・月別日照時間の確率予報（3か月目）には、それぞれ6桁の数字を記述する。6桁のうち左の2桁は少ない階級の確率、中2桁は平年並の階級の確率、右2桁は多い階級の確率を表わす。

【例】

<日照時間>□3か月□ 1 2月□ 1月□ 2月▽  
地域□ 少□並□多□ 少□並□多□ 少□並□多□ 少□並□多%▽  
北海道（日）□5 0 3 0 2 0□6 0 3 0 1 0□5 0 3 0 2 0□4 0 4 0 2 0▽  
北海道（オ）□2 0 3 0 5 0□1 0 3 0 6 0□2 0 3 0 5 0□2 0 4 0 4 0▽  
北海道（太）□2 0 4 0 4 0□2 0 3 0 5 0□2 0 4 0 4 0□2 0 5 0 3 0▽

(9) 降雪量確率行

「<降雪量>□3か月□1か月目の月□2か月目の月□3か月目の月▽」とし、続いて「地域□少□並□多□少□並□多□少□並□多□少□並□多%▽」とする。

次に「予報地域□3か月降雪量の確率□月別降雪量の確率予報（1か月目）□月別降雪量の確率予報（2か月目）□月別降雪量の確率予報（3か月目）▽」により降雪量の確率予報を示す。この部分は予報区内の予報地域の数に応じて、1ないし複数回記述する。

予報地域は別表中の「予報対象地域名」のいずれかを用いる。ただし、「予報対象地域名」に略称がある場合には略称を用いる。

3か月降雪量の確率・月別降雪量の確率予報（1か月目）・月別降雪量の確率予報（2か月目）・月別降雪量の確率予報（3か月目）には6桁の数字を記述する。6桁のうち左の2桁は少ない階級の確率、中2桁は平年並の階級の確率、右2桁は多い階級の確率を表わす。

降雪量予報を行わない場合には、この行は含まれない。

【例】

<降雪量>□ 3か月□ 1 2月□ 1月□ 2月▽  
地域□ 少□並□多□ 少□並□多□ 少□並□多□ 少□並□多%▽  
北日本（日）□5 0 3 0 2 0□6 0 3 0 1 0□5 0 3 0 2 0□4 0 4 0 2 0▽  
東日本（日）□2 0 3 0 5 0□1 0 3 0 6 0□2 0 3 0 5 0□2 0 4 0 4 0▽  
西日本（日）□2 0 4 0 4 0□2 0 3 0 5 0□2 0 4 0 4 0□2 0 5 0 3 0▽

なお、当面は3か月降雪量のみ予報し月別降雪量は予報しないため、降雪量確率行の形式は月別降雪量を略し、以下のような形式とする。確率表現の月別降雪量予報を開始する際には、別途、技術情報により周知する。

「<降雪量>□3か月▽」とし、続いて「地域□少□並□多%▽」とする。

次に「予報地域□3か月降雪量の確率▽」により降雪量の確率予報を示す。

**【例】**

<降雪量>  3か月▽

地域  少  並  多 %▽

北日本（日）  203050▽

東日本（日）  203050▽

西日本（日）  204040▽

(10) 次回発表予定行

「<次回発表予定等>▽」とし、続いて次回の季節予報発表日等を平文で記述して改行する。

**【例】**

<次回発表予定等>▽

1か月予報：毎週金曜日14時30分発表 次回は7月26日▽

3か月予報：7月22日（月曜日） 14時▽

<< 別表 >>

(1) 地方季節予報電文で用いる地方予報区名・予報対象地域名、  
および予報対象地域に含まれる府県予報区（細分区）

地方予報区名 (担当官署)	予報対象地域名 <略称>	予報対象地域に含まれる 府県予報区（細分区）
北海道地方予報区 (札幌管区气象台)	北海道地方	北海道
	北海道日本海側 <北海道(日)>	宗谷地方(宗谷北部)、上川地方、留萌地方、石狩地方、後志地方、空知地方、檜山地方
	北海道オホーツク海側 <北海道(オ)>	宗谷地方(宗谷南部)、網走地方、北見地方、紋別地方
	北海道太平洋側 <北海道(太)>	渡島地方、胆振地方、日高地方、十勝地方、釧路地方、根室地方
東北地方予報区 (仙台管区气象台)	東北地方	青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県
	東北日本海側	青森県(津軽)、秋田県、山形県、福島県(会津)
	東北太平洋側	青森県(下北、三八上北)、岩手県、宮城県、福島県(中通り、浜通り)
	東北北部	青森県、秋田県、岩手県
	東北南部	山形県、宮城県、福島県
関東甲信地方予報区 (気象庁本庁)	関東甲信地方	栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、山梨県
東海地方予報区 (名古屋地方气象台)	東海地方	静岡県、岐阜県、三重県、愛知県
北陸地方予報区 (新潟地方气象台)	北陸地方	新潟県、富山県、石川県、福井県
近畿地方予報区 (大阪管区气象台)	近畿地方	京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県
	近畿日本海側	京都府(北部)、兵庫県(北部)、滋賀県(北部)
	近畿太平洋側	京都府(南部)、兵庫県(南部)、滋賀県(南部)、奈良県、和歌山県、大阪府
中国地方予報区 (広島地方气象台)	中国地方	岡山県、広島県、鳥取県、島根県
	山陽	岡山県、広島県
	山陰	鳥取県、島根県
四国地方予報区	四国地方	香川県、愛媛県、徳島県、高知県

(高松地方气象台)		
九州北部地方予報区 (福岡管区气象台)	九州北部地方	山口県、福岡県、大分県、佐賀県、 熊本県、長崎県
九州南部地方予報区 (鹿児島地方气象台)	九州南部地方	宮崎県、鹿児島県
	九州南部	宮崎県、鹿児島県 (薩摩地方、大隅 地方、種子島・屋久島地方)
	奄美地方	鹿児島県 (奄美地方)
沖縄地方予報区 (沖縄气象台)	沖縄地方	沖縄本島地方、大東島地方、宮古島 地方、八重山地方

注：予報対象地域に含まれる府県予報区（細分区）は、北海道地方予報区については一次細分区名（括弧内は二次細分区名）で表示し、他の地方予報区については府県予報区名（括弧内は一次細分区名）で表示している。

## (2) 全般季節予報電文で用いる予報対象地域名と予報対象地域に含まれる地域

予報対象地域名 〈略称〉	予報対象地域に含まれる地域
北日本 北日本日本海側 〈北日本（日）〉 北日本太平洋側 〈北日本（太）〉	北海道地方、東北地方  北海道日本海側、北海道オホーツク海側の一部（宗谷南部）、東北日本海側 北海道太平洋側、北海道オホーツク海側の一部（網走地方、北見地方、紋別地方）、東北太平洋側
東日本 東日本日本海側 〈東日本（日）〉 東日本太平洋側 〈東日本（太）〉	関東甲信地方、北陸地方、東海地方  北陸地方  関東甲信地方、東海地方
西日本  西日本日本海側 * 〈西日本（日）〉 西日本太平洋側 〈西日本（太）〉	近畿地方、中国地方、四国地方、九州北部地方、九州南部  近畿日本海側、山陰、九州北部地方  近畿太平洋側、山陽、四国地方、九州南部
南西諸島	奄美地方、沖縄地方

\*：ただし、降雪量予報においては「近畿日本海側、山陰」とし、「九州北部地方」は含まない。

## 電文例1 地方3か月予報

北海道地方□3か月予報▽  
予報期間□11月から1月▽  
平成××年10月××日▽  
札幌管区气象台□発表▽

<予想される向こう3か月の天候>▽

向こう3か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。▽

この期間の平均気温は、全道的に低いでしょう。降水量は日本海側で多く、▽オホーツク海側と太平洋側では平年並か少ない見込みです。日本海側の降雪▽量は多いでしょう。▽

11月 日本海側では平年より曇りや雪または雨の日が多いでしょう。オホ▽ーツク海側と太平洋側では平年より晴れる日が多いでしょう。▽  
気温は低い見込みです。降水量は日本海側で多く、オホーツク海側と太平洋▽側では少ないでしょう。▽

12月 平年同様に、日本海側では曇りや雪の日が多く、オホーツク海側と▽太平洋側では晴れる日が多いでしょう。▽  
気温は低い見込みです。降水量は日本海側で多く、オホーツク海側と太平洋▽側では平年並でしょう。▽

1月 平年同様に、日本海側では曇りや雪の日が多く、オホーツク海側と太▽平洋側では晴れる日が多いでしょう。▽  
気温は平年並か低く、降水量は平年並でしょう。▽

<気温>□ 3か月□ 11月□ 12月□ 1月▽  
地域□ 低□並□高□ 低□並□高□ 低□並□高□ 低□並□高%▽  
北海道地方□ 503020□603010□503020□404020▽

<降水量>□ 3か月□ 11月□ 12月□ 1月▽  
地域□ 少□並□多□ 少□並□多□ 少□並□多□ 少□並□多%▽  
北海道(日)□203050□103060□203050□205030▽  
北海道(オ)□404020□503020□305020□305020▽  
北海道(太)□404020□503020□305020□305020▽

<降雪量>□ 3か月▽

地域□ 少□並□多%▽  
北海道（日）□203050▽

<次回発表予定等>▽

1か月予報：毎週金曜日14時30分発表 次回は××月××日▽

3か月予報：11月××日（×曜日） 14時▽

## 電文例2 全般3か月予報

全般□3か月予報▽  
予報期間□12月から2月▽  
平成××年11月××日▽  
気象庁□気候・海洋気象部□発表▽

<予想される向こう3か月の天候>▽

向こう3か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。▽  
この期間の平均気温は、北日本では低く、東日本と西日本では平年並か低く▽、  
南西諸島では平年並でしょう。降水量は日本海側で多く、太平洋側では少▽なく、  
南西諸島では平年並でしょう。日本海側の降雪量は多いでしょう。▽

12月 日本海側では平年より曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では▽平年より晴れる日が多いでしょう。南西諸島では平年より曇りや雨の日が多▽いでしょう。▽

気温は北日本、東日本、西日本で低く、南西諸島では平年並か低いでしょう▽。  
▽

降水量は日本海側で多く、太平洋側や南西諸島では少ないでしょう。▽

1月 平年同様に日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では▽晴れる日が多いでしょう。南西諸島では平年と比べて曇りや雨の日が多いで▽しょう。▽

気温は北日本、東日本、西日本では低く、南西諸島では平年並でしょう。▽  
降水量は日本海側では多く、太平洋側では少なく、南西諸島では平年並でし▽ょう。▽

2月 平年同様に日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では▽晴れる日が多いでしょう。南西諸島では平年同様曇りや雨の日が多いでし▽ょう。▽

気温は北日本では平年並か低く、東日本、西日本、南西諸島では平年並でし▽ょう。降水量は全国で平年並でしょう。▽

<気温>□	3か月□	12月□	1月□	2月▽
地域□	低□並□高□	低□並□高□	低□並□高□	低□並□高□%▽
北日本□	503020□	603010□	503020□	404020▽
東日本□	404020□	503020□	503020□	304030▽
西日本□	404020□	503020□	503020□	304030▽

南西諸島  205030  404020  205030  205030 ▽

<降水量>  3か月  12月  1月  2月 ▽  
地域  少  並  多  少  並  多  少  並  多 % ▽  
北日本(日)  203050  103060  203050  304030 ▽  
北日本(太)  503020  603010  503020  305020 ▽  
東日本(日)  203050  103060  203050  304030 ▽  
東日本(太)  503020  603010  503020  305020 ▽  
西日本(日)  203050  203050  203050  304030 ▽  
西日本(太)  503020  503020  403030  305020 ▽  
南西諸島  305020  503020  305020  304030 ▽

<降雪量>  3か月 ▽  
地域  少  並  多 % ▽  
北日本(日)  203050 ▽  
東日本(日)  203050 ▽  
西日本(日)  203050 ▽

<次回発表予定等> ▽

1か月予報：毎週金曜日14時30分発表 次回は××月××日 ▽

3か月予報：12月××日(×曜日) 14時 ▽